

今月の表紙

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
海老名総合病院



K
A
N
A
G
A
W
A

看護だより

Vol.217
2024.7



Topics

- [健康ひろば] 婦人科 骨粗鬆症について
- [スペシャリストが行く] 医療ケア担当看護師
- [目からウロコのお役立ち情報] 水難事故
- [続・特集] 未来筋電義手センター
- [災害支援ナース特集] 令和6年 能登半島地震
—災害支援ナースへの感謝状贈呈式—



2024年度 会員数 **33,263**人 (2024年7月1日現在)

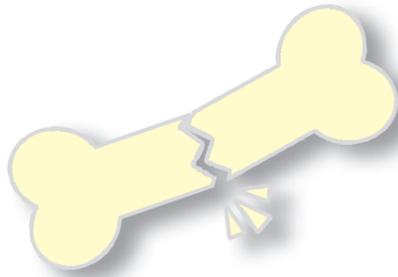


公益社団法人神奈川県看護協会

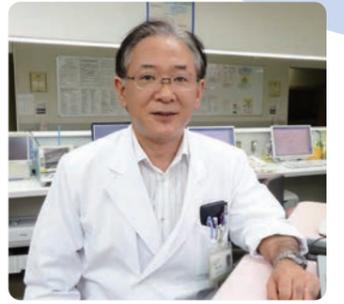
〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1 神奈川総合医療会館内
TEL.045-263-2901(代) / FAX.045-263-2905 / <https://www.kana-kango.or.jp/>



病院紹介は23ページに掲載



骨粗鬆症



横浜労災病院女性ヘルスケア部
部長 茶木 修

はじめに

骨粗鬆症とは「骨強度の低下を特徴とし、骨折リスクが増大しやすくなる骨格疾患」と定義されています。骨粗鬆症では骨折のリスクが高だけでなく、一度骨折を起こすとQOLやADLの低下を招き、死亡のリスクも高くなる疾患です。高齢化が進むわが国ではおおよそ1,590万人の患者さんが存在し、医療や介護における重要な疾患と言えます。骨粗鬆症は整形外科の疾患のイメージがありますが、その発症には性差を超えて女性ホルモンの減少が大きく関与し、ステロイドホルモンの使用や糖尿病などの生活習慣病も骨の脆弱化に影響することが知られています。そのため内分泌・代謝内科や婦人科では骨折を起こす前からハイリスク群を見つけ、予防的介入により骨粗鬆症による骨折を減らすことに取り組んでいます。

骨粗鬆症の診断と症状

日本の骨粗鬆症診断基準（2012年度改訂版）（図1）では、脆弱性骨折（外傷によらない骨折）の有無と、骨密度値の2項目によって診断を行うよう定められています。椎体骨折または大腿骨近位部骨折があれば、骨密度値に関係なく原発性骨粗鬆症と診断されます。その他の脆弱性骨折があ

る場合には骨密度測定を行い、骨密度が若年成人平均値（young adult mean；YAM）の80%未満の場合、骨粗鬆症と診断されます。低骨密度の評価は原則として腰椎または大腿骨近位部の骨密度値を用い、YAMの70%以下あるいは-2.5SD以下であれば骨粗鬆症、骨密度が-2.5SDより大きく-1.0SD未満の場合を骨量減少と診断します。

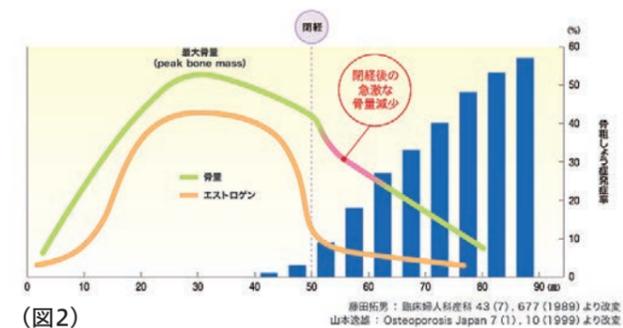
骨粗鬆症のうち、骨折がなく単に低骨密度の場合には症状はありません。脊椎骨折や椎体の変形を起こすと急性・慢性の腰背部痛、身長の下下や亀背・円背を招きます。骨折がゆっくり進行した場合には痛みを伴わないことも珍しくありません。一方、大腿骨近位部の骨折では起立困難・歩行困難が生じ、手術が必要となり、術後も長期入院やリハビリテーションが必要です。

骨粗鬆症の原因やリスク

骨組織は常に骨形成と骨吸収が行われ、骨強度を維持しています。原発性骨粗鬆症では加齢により性差を超えて女性ホルモンの減少により、骨吸収が骨形成を上回ることによって骨粗鬆症のリスクが高まります。「骨粗鬆症」と聞くと、なんとなく高齢者の疾患のイメージです

が、実際には若年女性の体重減少性や妊娠・授乳関連骨粗鬆症の患者さんも多くいます。特に女性では最大骨量が男性に比べ少ないこと、閉経により急激な骨量減少が起こるため、骨粗鬆症発症が多いことが知られています（図2）。その他のリスク因子として、低体重、栄養不良、運動不足、喫煙、過度の飲酒が知られています。続発性骨粗鬆症では、カルシウムやビタミンD・Kの不足に伴うものや、薬剤性（ステロイドホルモン、抗がん剤）、糖尿病や甲状腺疾患などの合併症、前立腺癌や乳癌の治療として行われる性ホルモン抑制が知られています。

女性では閉経後に骨粗鬆症の患者数は急増する



（図2） 藤田拓男：臨床婦人科産科 43 (7)、677 (1999)より改定
山本透郎：Osteoporosis Japan 7 (1)、10 (1999)より改定

骨粗鬆症の治療

骨粗鬆症の治療目的は骨折を予防して骨格の健康を維持することです。骨折のリスクを勘案し、高リスクでは骨量減少（YAM70-80%）の状態でも治療介入すべきとされています（図3）。これは骨粗鬆症では脆弱性骨折の発症頻度が高いのは当然ですが、骨折者の実数は骨量減少の状態でもより多く発生していることも考慮されているからです。

各種薬剤について細かい説明は省略しますが、明らかな骨折抑制効果を示す様々な薬剤が臨床利用されています。患者さんの病態により使い分ける必要があり、是非専門の先生と相談して薬剤選択をしてください。

予防

骨粗鬆症の危険因子を出来るだけ排除すること、高危険因子群では早期の医学的介入が必要です。成長期からバランスの良い食事摂取、なかでも十分なカルシウム摂取を心がける必要があります。また食事、日光被曝によるビタミンDの補充や適度な運動が全ての年齢層において重要です。若年女性の体重減少性や妊娠・授乳関連骨粗鬆症の患者さんには、今後の妊娠・出産を考慮することや長期のフォローをしていきます。

おわりに

骨粗鬆症は自覚症状に乏しく、病気が進行して骨折を起こすと、様々な障害が起こり、死亡リスクも上げる病気です。「寝たきり」の原因の約13%が骨粗鬆症による骨折であるとされ、超高齢社会である我が国においても医学のみならず社会的にも非常に関心の高い疾患です。

骨粗鬆症は加齢とともに発症する、退行性疾患です。全ての人にとって加齢は避けることのできない現象であり、この点からみれば骨粗鬆症を100%予防することは不可能です。しかし、ライフスタイルを見直し、若い時期から適切な栄養と運動を心がけることで最大骨量を上げることは可能です。また栄養や運動だけでなく、骨量減少や骨折のリスクをできるだけ回避することも予防になります。

骨折の高リスク群では早期介入が望まれ、骨折抑制効果の高い薬剤を選択することで骨折を減らし、患者のQOLやADLの低下を抑制することが可能な疾患です。多くの医療従事者が骨粗鬆症に関心を持ち、正しく理解することで骨粗鬆症による骨折が減少することを期待しています。

原発性骨粗鬆症の診断基準（2012年度改訂版）

低骨量をきたす骨粗鬆症以外の疾患または続発性骨粗鬆症を認めず、骨評価の結果が下記の条件を満たす場合、原発性骨粗鬆症と診断する。

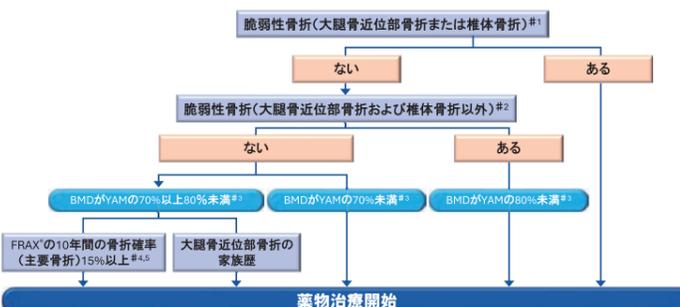
I. 脆弱性骨折^(注1)あり
1. 椎体骨折 ^(注2) または大腿骨近位部骨折あり
2. その他の脆弱性骨折 ^(注3) があり、骨密度 ^(注4) がYAMの80%未満
II. 脆弱性骨折なし
骨密度 ^(注4) がYAMの70%以下または-2.5SD以下

YAM：若年成人平均値（腰椎では20～44歳、大腿骨近位部では20～29歳）

注1 軽微な外力によって発生した非外傷性骨折。軽微な外力とは、立った姿勢からの転倒か、それ以下の外力をさす。
注2 形態椎体骨折のうち、3分の2は無症候性であることに留意するとともに、鑑別診断の観点からも脊椎X線像を確認することが望ましい。
注3 その他の脆弱性骨折：軽微な外力によって発生した非外傷性骨折で、骨折部位は肋骨、骨盤（恥骨、坐骨、仙骨を含む）、上腕骨近位部、橈骨遠位端、下腿骨。
注4 骨密度は原則として腰椎または大腿骨近位部骨密度とする。また、複数部位で測定した場合にはより低い%値またはSD値を採用することとする。腰椎においてはL1～L4またはL2～L4を基準値とする。ただし、高齢者において、脊椎変形などのために腰椎骨密度の測定が困難な場合には大腿骨近位部骨密度とする。大腿骨近位部骨密度には頸部またはtotal hip (total proximal femur)を用いる。これらの測定が困難な場合は橈骨、第二中手骨の骨密度とするが、この場合は%のみ使用する。表3に日本人女性における骨密度のカットオフ値を示す。
付記：骨量減少【骨減少】[low bone mass(osteopenia)]：骨密度が-2.5SDより大きく-1.0SD未満の場合を骨量減少とする。

原発性骨粗鬆症の診断基準(2012年度改訂版)

骨粗鬆症の薬物治療 原発性骨粗鬆症の薬物治療開始基準



#1：女性では閉経以降、男性では50歳以降に軽微な外力で生じた、大腿骨近位部骨折または椎体骨折をさす。
#2：女性では閉経以降、男性では50歳以降に軽微な外力で生じた、前腕骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、下腿骨折または肋骨骨折をさす。
#3：測定部位によってはTスコアの併記が検封されている。
#4：75歳未満で適用する。また、50歳代を中心とする世代においては、より低いカットオフ値を用いた場合でも、現行の診断基準に基づいて薬物治療が推奨される集団を部分的にカバーしないなどの限界も明らかになっている。
#5：この薬物治療開始基準は原発性骨粗鬆症に関するものであるため、FRAXの項目のうち糖質コルチコイド、関節リウマチ、続発性骨粗鬆症には適用されない。すなわち、これらの項目がすべて「なし」である症例に限って適用される。
骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会 編「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年版」、p.55、ライフサイエンス出版

（図3）

スペシャリストが行く!

医療的ケア児を支援する看護師



川崎市立西生田小学校
医療ケア担当看護師
岡田 鶴子

医療的ケアとは

自宅や学校など、医療機関以外の場所で、家族などが日常的に行う医療行為をいいます。医療的ケアの内容は、人工呼吸器や気管切開部の管理、経管栄養、喀痰吸引、胃ろう、導尿、インスリンの管理などがあります。対象となる医療的ケア児は、日常生活で継続的に医療ケアを受けることが不可欠です。重度の障害（肢体不自由や知的障害）があることも多いですが、歩くことや自分でケアすることが可能な子どももいます。

医療的ケアを始めた経緯

私は看護師として勤務したすべての期間を病院で過ごしたため、退職後は病院以外の場所で看護をしたいと考



えていました。そんな時“学校での医療的ケア”という仕事があることを知りました。内容を調べていく中で、小児科経験がないことに多少の不安は覚えましたが、携わってみたいという気持ちがどんどん強くなっていきました。幸いにも2023年4月より医療的ケア児に携わることができ環境を得ることができました。

医療的ケアの活動と役割

仕事は、医療的ケア児が通学する日の登校から下校までとなります。

医療的ケアは、医師が作成する「医療的ケア実施に関する主治医指示書」の内容に沿って看護師が行います。また、登校時に保護者からケア児の家庭での様子が記載された用紙を受け取り、自宅での様子や学校での様子を保護者と看護師間で情報共有しています。

私が担当している医療的ケア児は、お友達のお世話が大好きな女の子です。気管切開をしており、発声はできません。気管カニューレと喀痰吸引の管理が主なケアとなります。毎日2~5回程度の吸引が必要となります。医療的ケア児が自ら「とって」とカニューレ挿入部を指し、ジェスチャーで吸引を希望してくることもあります。吸引は授業中や食事中など必要時に対応できるよう、看護師は医療的ケア児のそばで常に待機しています。医療的ケア児に関する学校での情報は担当の先生と情報交換できる体制があり、相談ができる環境もあります。

これからの医療的ケアへの思い

学校において医療的ケアを実施する意義は「看護師は医療的ケア・教師は授業」それぞれがその専門性を活かしてサポートすることで、医療的ケア児が安全に学ぶべき環境が整えられ、毎日学校に通うことができる」ことだと思います。

私は医療的ケアに関わってまだ日も浅く、未経験なことも多いですが、医療的ケア児が日々の成長を安全に積み重ね続けられるよう、今後も支援していきたいと考えています。

Water Accident

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…



水難事故

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は「水難事故」について、藤沢市南消防署 警備二課 鶴沼水難救助隊消防司令補 前田 哲平さんに解説していただきました。



川や海で楽しく遊ぶためにライフジャケットを!



鶴沼水難救助隊とは

鶴沼水難救助隊は、国道134号線の海沿いにある「鶴沼出張所」に配置されています。

火災など消防隊の出動する災害対応はもちろんのこと、救助艇や水上バイクを駆使し、水難救助事案にも対応する精鋭部隊です。

隊員は、潜水士免許、2級小型船舶操縦士免許、特殊小型船舶操縦士免許等を取得しており、専門性の高い部隊となっています。



鶴沼水難救助隊（水上バイク）



水難事故が起きやすい状況・場所

水難事故が起こりやすい状況は、釣りや魚取りでの転落事故、また、海水浴や水遊びの際に、水流の変化や水温の変化がある場所で流されて溺れる事故が多く起きています。飲酒後の入水は、判断力が低下したり、平衡感覚が乱れて溺れやすくなるため大変危険ですので絶対にやめましょう。

川や海へ遊びに行く際は、事前に気象情報を把握し、風雨や落雷等の天候の変化に注意し、河川上流の降雨で増水の恐れが高いときには、予定を変更することが大切です。



転落危険がある岩場



水辺のレジャーには必ずライフジャケットを!!

古いデータではありますが、海上保安庁が過去に発表している資料では、平成14年~18年の5年間に発生した15歳以下のプレジャーボートや岸壁からの海中転落者は48人で、そのうち11人が亡くなっています。

事故者のライフジャケットの着用率は8%と極めて低く、亡くなった全員がライフジャケットを着用していませんでした。一方、ライフジャケット着用者の生存率は100%だそうです。

川や海の水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用し、楽しい思い出を作りましょう!!



写真左から：膨張式、河川用（PFD）、水上バイク用ライフジャケット

令和4年度 水難事故件数（警察庁発表）

発生件数	1,346件
水難者	1,640件
うち死者・行方不明者	727人
うち中学生以下の水難者	198人
うち死者・行方不明者	26人



死者・行方不明者 727人の発生場所



令和4年度 藤沢市水難事故件数

発生件数	23件
水難者	12件
うち死者・行方不明者	3人
うち中学生以下の水難者	0人
うち死者・行方不明者	0人



未来筋電義手センター

～筋電義手支援の取り組み～

神奈川県リハビリテーション病院では、2017年より事故や病気で上肢を切断された方や先天性の上肢欠損の方に、筋電義手の支援を行っています。当初は成人を中心に支援していましたが、小児からの要望が多く、そのため、成人から小児まで幅広く普及推進する目的で2021年に未来筋電義手センターが設立されました。医師をはじめとする作業療法士や義肢装具士などの多職種のスタッフで構成されています。

電動でハンドが動く筋電義手は、筋肉が収縮するときに発生する筋電位を電極が感知し、モーターでハンドを開閉して把持動作を行います。把持力が強く、手の外観に近い操作性と機能性を持った義手です。十分に使いこなすには操作訓練の必要があり、1本約150万円と高額であること、理由から普及が難しい状況にあります。

そのため未来筋電義手センターでは筋電義手バンクを設立し、多くの方々から寄付金を募っています。その費用で筋電義手を製作し、長期的な操作訓練と、筋電義手の貸し出しを行いながら実用的な利用を目指していきます。従来の筋電義手は外傷性の切断の方が主な対象でしたが、現在では先天性上肢欠損の方が筋電義手の利用を希望するよう



になり、乳幼児から成人まで幅広い年齢層の方に支援を行っています。ここでは筋電義手の支援の流れを紹介した後に、小児の筋電義手の支援内容や家族同士の交流会の活動内容について紹介します。

リハビリテーション工学



未来筋電義手センタースタッフ

小児の筋電義手の支援

小児の先天性上肢欠損では、乳幼児期からアプローチを開始します。最初に義手に慣れるための装飾用義手の装着から開始します。装飾性を補い義手の装着に慣れるのが目的で、早い時期から義手の感覚に慣れることで両手操作が身に付き、筋電義手の操作訓練に移行しやすくなります。

操作訓練は、ハサミを使用した工作、食器を持つ、三輪車や自転車などのハンドルを握るといった両手動作を行います。筋電義手の操作に慣れたところで筋電義手を貸し出し、自宅や保育園で使用する経験を積むことでより操作が上達します。また、成長に伴い筋電義手だけでなく、マット運動用義手などの製作も行っています。義手が合わなくなることが増えるため、欠損肢に装着するソケットは、作り替えなどのアフターフォローが随時必要となります。

家族交流会 ～親と子どもの支援～



小児上肢切断・欠損者は稀で、同じ疾患同士の交流も少なく、情報も少ないというのが実情で、ご家族は子どもの将来への不安、運動面や心理面での発達など様々な悩みを抱えています。未来筋電義手センターでは、ピアサポート等を目的とした家族交流会を実施しています。2022年から3回開催し、実際に筋電義手を使用している当事者の経験談や、ご家族同士で意見交換をしていただき、情報の共有を行っています。

子ども達に対しては、ボール遊びやマットを使った運動、筋電義手を使用したボールすくいや射的などのミニ縁日で、遊びを通じた子ども同士の交流の提供を行っています。

このように単に筋電義手を支援するだけでなく、運動面や心理面にもスポットをあて、ご家族とともに成長をサポートしていきます。



装飾義手 (左手)



筋電義手 (右手)



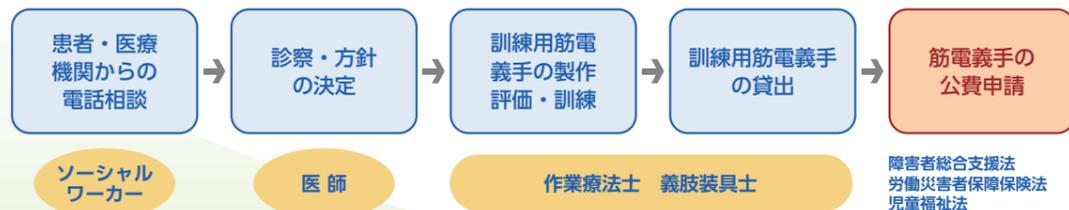
筋電義手 (右手)



筋電義手 (左手)

筋電義手支援の流れ

- 筋電義手に関する相談** 年齢、性別、切断部位や職業または学校といった使用する環境などの基本情報を確認します。
- 医師の外来診察** 外来診察後に今後の筋電義手訓練の進め方について決定します。
- 筋分離訓練 訓練用筋電義手製作** 筋肉の収縮による筋電信号の発生を作業療法士が確認します。筋電位が正しく感知できることを確認した後に、義肢装具士が欠損肢部分に装着するソケットを製作し、訓練用の筋電義手を製作します。訓練用筋電義手の完成後月1～2回の頻度で、日常生活動作や、仕事での両手動作を想定し、筋電義手の操作の習熟のための訓練を行います。
- 訓練用筋電義手の貸出** 筋電義手の操作に習熟した時点で、訓練用筋電義手の貸出をします。在宅生活での経験を積みながら、職場、学校を再現して実用的に使用ができているか評価・訓練します。
また、実際にスタッフが訪問して使用状況を確認し、地域の方々へ筋電義手に関して説明することもあります。
- 公的給付申請** 自宅や職場などで使用できることを確認した後は、障害者総合支援法などの公的給付制度に申請を行います。申請の承認後に本人用の筋電義手の製作となります。



障害者総合支援法
労働災害者保障保険法
児童福祉法



詳しくは当院HPまで



看護の日・ 看護週間事業

看護の日・看護週間とは…

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」と制定されました。この日を含む週の日曜日から土曜日までが看護週間です。



かながわ看護フェスティバル2024開催！

神奈川県看護協会では「看護の心をみんなの心に」をテーマに、2024年5月12日「かながわ看護フェスティバル」を開催し、延1,163名の方にご来場頂きました。会場では、看護協会のキャラクターである“かんごちゃん”が登場すると、お子さんだけでなく大人の方も笑顔になり、思い出に残る写真撮影も大盛況でした。

+ 災害支援ナースの活動

災害お役立ち情報として、身近にある生活用品で、傷の手当てや傷病者の緊急搬送方法などのデモンストレーションが行われました。また、段ボールトイレのコーナーではテントが活用され、プライバシーを十分に配慮したパーソナルスペースが確保されていました。



+ 相談コーナー

進路や復職支援に関する相談コーナーでは、神奈川県内の看護師等養成機関の案内や、個別相談が3ブース設置されました。数多くの方が来場され、一時は待ち時間が出るなど、大盛況でした。



+ 白衣の歴史

明治中期から昭和中期、現代へと移り変わった白衣の紹介がありました。明治中期は日本赤十字社の看護衣で「身丈の長さは足関節、袖の長さは腕関節まで」、昭和中期は「清潔は白衣の着用の義務で、着丈のバリエーションが増加」、現代は「優しさと凛々しさ、信頼と安心、尊敬とおもてなし」をコンセプトとして、ストレッチ性や涼感など素材や機能も向上しました。



+ 情報コーナー

ピンクリボンコーナーでは、『乳房自己触診で早期発見』をテーマにポスターの紹介や、乳房のモデルを用いて、具体的な自己触診方法の紹介がありました。早期治療をすることで乳房を温存することにもつながります。乳がんは唯一自分で発見できる「がん」です。



令和6年能登半島地震 災害支援ナースへの 感謝状贈呈式



+ 感謝状贈呈式

1月から令和6年能登半島地震で活動した災害支援ナースの皆さんへ神奈川県看護協会より感謝状の贈呈がされました。

業務のため欠席の方もおられましたが、当日はZOOM参加も含めて18名の方が表彰を受けました。この様子はテレビ神奈川で放映されました。



+ 災害支援ナース活動報告会

また感謝状贈呈式の後、災害支援ナースの活動報告会が開催されました。

ここでは、災害支援ナースの記録を基に、輪島市鳳至小学校（避難所）と金沢市いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）での活動を振り返り、活動内容、課題を共有することができました。

災害支援ナースの活動は3泊4日ですが、みなさんの活動報告がつながることで、救護所の立ち上げから災害支援ナースの撤退までが具体的に理解されるなど、それぞれの経験値の報告は他にはない学びの機会となりました。

災害支援ナースの皆様、活動・報告会共に疲れ様でした。



2024年度 通常総会開催

“増大する社会のニーズに答えられるように、看護職の確保推進と個人の資質向上を図る支援を行い、看護職が生き生きと働き続けることができる環境改善に取り組んでいく”



首藤 神奈川 副知事

6月21日（金）県総合医療会館7階講堂において、2024年度通常総会を開催いたしました。今年度も参集とともにライブ配信を同時に行いました。当日の参加者は152名、委任状は23,215名でした。式典では長野会長の挨拶の後、首藤神奈川副知事をはじめ、ご来賓の方々からの祝辞をいただきました。

首藤副知事からは、新型コロナウイルス感染症禍での看護職の活躍や令和6年能登半島地震への災害支援ナースの派遣など、感謝のお言葉をいただきました。また、県看護協会長表彰受賞式、看護研究奨励賞受賞式が行われ、それぞれ15名と4名の方が表彰されました。

総会の審議事項については、第一号議案「公益社団法人神奈川県看護協会定款変更（案）」、第二号議案「2023年度決算報告（案）及び監査報告」、第三号議案「神奈川県看護協会の会費等に関する規則改正（案）」の審議が行われ、そ

れぞれ採決の結果、賛成者多数により承認をいただきました。第四号議案では「2024年度改選役員の選出」が行われ、投票の結果、候補者全員が選任となり、臨時理事会を経て門根専務理事、早川常務理事、布施助産師職能理事、三上横浜北支部理事、兼子横浜西支部理事、辻村横浜南支部理事、山本横須賀支部理事、小澤小田原支部理事、渡辺県央支部理事、青山監事の10名の役職が決まり、2024年度の役員体制が決定しました。また、選挙では2025年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者についての投票も行われ全員の方が信任となりました。



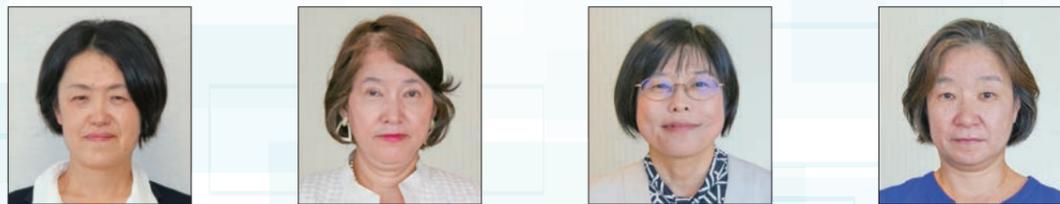
退任される旧役員の方々

2024年度 役員紹介

※（再）=再任（新）=新任



<p>会長 ながの ひろただ 長野 広敬 神奈川県看護協会</p>	<p>副会長 かつやま きみこ 勝山 貴美子 横浜市立大学 医学部看護学科・大学院医学研究科</p>	<p>副会長 わたなべ てるこ 渡邊 輝子 済生会横浜市東部病院</p>	<p>専務理事（新） かどね みちえ 門根 道枝 神奈川県看護協会</p>	<p>常務理事 すぎうら ゆみこ 杉浦 由美子 神奈川県看護協会</p>	<p>常務理事（新） はやかわ みつほ 早川 みつほ 神奈川県看護協会</p>
--	---	---	--	---	--



<p>保健師職能理事 よこもり きくみ 横森 喜久美 横浜市栄福祉 保健センター</p>	<p>助産師職能理事（再） ふせ あけみ 布施 明美 堀病院</p>	<p>看護師職能理事I はら くみ 原 久美 平和病院</p>	<p>看護師職能理事II かわむら ともこ 河村 朋子 磯子区医師会訪問看護 ステーション</p>
---	---	--	--



<p>川崎支部理事 ふくなが 福永 ヒトミ 日本医科大学 武蔵小杉病院</p>	<p>横浜北支部理事（新） みかみ ともこ 三上 朋子 汐田総合病院</p>	<p>横浜西支部理事（新） かねこ ゆり 兼子 友里 聖隷横浜病院</p>	<p>横浜南支部理事（再） つじむら ようこ 辻村 陽子 厚済会グループ本部</p>	<p>横須賀支部理事（新） やまもと じゅん 山本 潤 神奈川歯科大学 附属病院</p>	<p>相模原支部理事 あべ のりこ 阿部 徳子 相模原協同病院</p>
--	---	--	---	---	--



<p>小田原支部理事（再） おざわ みき 小澤 美紀 鶴巻温泉病院</p>	<p>湘南支部理事 やまおか すみよ 山岡 澄代 茅ヶ崎市立病院</p>	<p>県央支部理事（新） わたなべ 美和 渡辺 美和 神奈川 リハビリテーション病院</p>	<p>准看護師理事 よねやま ちほ 米山 知穂 総合新川橋病院</p>	<p>監事（再） あおやま ゆうじ 青山 裕治 青山裕治公認会計士 事務所</p>	<p>監事 すずき えみこ 鈴木 恵美子 横浜メディカルグループ 本部</p>
--	---	---	--	--	--

2024年度 委員会名簿

- | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|
| <p>職能委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保健師職能委員会
横森 喜久美（保）
神藤 潤子（保）
永井 麻由美（保）
諸橋 万里子（保）
須田 真純（保）
津島 志津子（保）
高清水 幸美（保）
田口 真由美（保）
渡部 瑞穂（保） ●助産師職能委員会
布施 明美（助）
小保方 加奈子（助）
諏訪 和美（助）
土井 秀子（助）
三浦 菜見子（助）
関口 美鈴（助）
千葉 菜緒（助）
菅原 真澄（助）
菅田 淳（助）
和田 紗耶加（助） ●看護師職能委員会I
原 久美（看）
七 木 佳子（看）
西野 隆一（看）
浅井 由紀子（看）
大久保 尚（看）
高橋 しのぶ（看）
古濱 桂子（看）
飯塚 清美（看）
飯石 礼子（看）
山田 乃理子（看）
井上 としこ（看）
中野目 亜沙美（看）
金子 康代（准）
高梨 明子（看）
米山 知穂（准） ●看護師職能委員会II
河村 朋子（看）
大森 基美（看）
加藤 佳代子（看）
菅家 美由紀（看）
西山 文子（看）
青山 康恵（看） | <p>鈴木 多加子（看）
西角 一恵（看）
加藤 沙緒理（保）
鈴木 姿子（看）
成瀬 藍（看）</p> <p>支部委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ●川崎支部
福永 ヒトミ（看）
坂下 聖加子（看）
佐野 香織（保）
杉山 ゆみ子（看）
八木 美智子（看）
上村 美穂（看）
宗像 弘美（看）
出水 要子（看）
田嶋 まさ子（看）
森 佐和子（看） ●横浜北支部
三上 朋子（看）
廣島 のぶ子（看）
矢野 由美（看）
伴 律子（看）
山田 道代（助）
興津 春子（看）
恒川 久美子（看） ●横浜西支部
兼子 友里（看）
堀内 利枝（看）
山崎 利枝（助）
奥田 あゆみ（看）
山賀 久美子（看）
新 陽子（看）
山井 志穂（看）
山本 恵（助） ●横浜南支部
辻村 陽子（看）
植村 幸子（看）
秋元 若菜（看）
山中 みゆき（看）
長田 登志美（看）
広瀬 智子（助）
島津 智子（助）
山中 聖子（看） | <ul style="list-style-type: none"> ●横須賀支部
山本 潤（看）
赤荻 幸子（看）
大川 直子（看）
橋詰 美恵（看）
松本 ひろみ（看）
太田 志保（看）
横山 輝美（看）
増田 浩子（保） ●相模原支部
阿部 徳子（看）
梶山 和美（看）
大用 智恵（看）
小林 由紀子（看）
江村 麗子（看）
田中 奈々江（看）
古田 麻利子（看）
千葉 由美子（看）
平林 早苗（保） ●小田原支部
三澤 美紀（看）
小亀 美穂（看）
村松 奈美（看）
小林 あかね（保）
内藤 智代（看）
岡田 拓也（看）
野田 裕美（看）
米谷 治子（看）
加藤 愛子（保） ●湘南支部
山岡 澄代（看）
浅岡 裕美（看）
本城 里美（看）
隅野 真由美（看）
秦野 歩（看）
松島 由子（看）
長田 志津子（看）
小山 みゆき（看）
柴田 元子（保） ●県央支部
渡辺 美和（看）
大西 早苗（看）
大北 坊英子（看）
鈴木 紀子（看）
和田 淑乃（看） | <p>石田 千亜紀（看）
兒玉 麻理子（看）
佐々木 摂子（看）
相馬 知佐（看）</p> <p>常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●推薦委員会
鈴木 千恵（看）
河田 多加（看）
程川 郁子（看）
中村 久美子（保）
野村 誠（看）
石鉢 一美（看）
北島 ひと美（看）
東山 智子（看）
後藤 しのぶ（看）
金田 亜美（看）
大友 友美（看）
倉田 弥生（看）
曾我 玲生（看）
本間 玲央（看）
丸山 香澄（看）
村上 弓子（看） ●社会経済福祉委員会
後藤 しのぶ（看）
金田 亜美（看）
大友 友美（看）
倉田 弥生（看）
曾我 玲生（看）
本間 玲央（看）
丸山 香澄（看）
村上 弓子（看） ●医療安全対策委員会
新村 美佐香（看）
大原 志歩（看）
木村 光代（看）
堺 恭子（看）
遠藤 美穂子（看）
下郡 美香（看）
三條 佳子（看）
玉川 礼子（看） ●教育研修委員会
三田 亜希子（看）
五藤 美和（看）
大館 忍（看）
鈴木 美紀（看）
室井 弘子（看）
伊藤 知美（看）
後藤 光美（看）
鈴木 友美（看）
住吉 由美（看）
角屋 真紀（看）
坂座 眞絵（看）
平田 明美（看）
渡邊 嘉如（看）
池辺 恵（看）
猪崎 陽子（看）
木村 保美（看）
日下部 あずさ（看）
寺尾 律（看）
中嶋 弘美（看） | <ul style="list-style-type: none"> ●広報出版委員会
竹田 英子（看）
長川 由貴（看）
中川 恵（看）
笠井 こずゑ（助）
影島 由美（看）
熊谷 ひとみ（看）
安藤 愛子（看）
内山 真弓（看）
清水 友見（看）
西森 佳代（看） ●業務委員会
堀尾 美穂（助）
荒井 瑞歩（看）
加藤 美穂代（看）
臼田 美奈子（看）
高野 謙司（看）
熊谷 麻紀（保）
濱田 順士（看）
岩本 百代（看） ●認定看護管理者教育運営委員会
高橋 恵（看）
山岡 澄代（看）
小池 智子（看）
樋口 美佳（看）
原 久美（看）
古矢 尚子（看）
早波 富美子（助）
藤川 ひとみ（看）
川上 純子（看） | <p>佐藤 孝子（看）
佐藤 陽子（看）
杉山 啓子（看）
三橋 啓太（看）</p> <p>●まちの保健室委員会
高橋 由美子（看）
蒲谷 朱希子（看）
山田 早苗（看）
井坂 めぐみ（助）
高谷 一枝（看）
和田 真里子（看）</p> <p>その他の会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●財政会議
門根 道枝（看）
勝山 貴美子（看）
間瀬 照美（看）
野田 久義（事務） ●看護研究倫理審査会
長野 広敬（看）
門根 道枝（看）
杉浦 由美子（看）
川 みつほ（看）
宮 芝智子（看）
有江 文栄（看）
鈴木 豊（事務） ●神奈川看護学会運営委員会
早川 みつほ（看）
勝山 貴美子（看）
池田 恵理（看）
大田 邦枝（助）
大田 康江（助）
岡 多恵（看）
金井 Pak 雅子（看） |
|--|--|--|---|---|---|

（2024年6月現在）

2023年度 事業報告

2023年度 重点事業と主な内容 実施評価

- 1 看護職の確保と働きやすい職場環境づくりへの支援
 - 1) 看護職としてのキャリア継続支援の推進と就業支援
 - 2) 訪問看護領域で働く看護職の育成と広報の強化
 - 3) ナースセンターの活用の促進とeナースセンター登録者への継続支援
 - 4) 就業継続が可能な看護職の働き方について実態把握と課題の明確化
 - 5) プラチナナースの就業支援
- 2 感染・災害対策の充実
 - 1) 感染症防止対策についての研修や県民への感染防止啓発事業の強化
 - 2) 中小規模施設への高齢者施設への感染防止対策支援
 - 3) 災害支援ナース育成の推進と災害発生時の支援体制整備
- 3 質の高い看護職の育成とキャリア支援の推進
 - 1) 看護職のニーズやキャリアに応じた研修の充実
 - 2) 情報通信技術 (ICT) を活用した研修受講の拡大
 - 3) 小規模施設、介護福祉施設クリニック等に勤務する看護職への支援強化
- 4 地域包括ケアの充実と多職種連携の推進
 - 1) 地域包括ケア推進のための研修の強化
 - 2) 母子のための地域包括ケアの実態把握と研修の実施
 - 3) 「まちの保健室」事業の拡大への検討

表内 ※中止は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業 (定款第4条第1項第1号 公益目的事業)

事業実施内容
1 県民に対する看護の普及活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護週間行事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 看護フェスティバル 2023年5月6日(土) 新都市プラザ 参加者数 延1,260名 (2) 「一日看護体験」事業 実施期間 2023年5月1日～8月31日 参加者数 4,989名 県内病院等実施施設 136施設 2) 県民に対する広報活動の強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報出版委員会の開催 (2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行 年6回 計199,600部発行 配布先: 病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載 (3) ホームページの充実・利用の促進 アクセス数 年529,305件 (研修申込サイト除く) LINE登録者数 3,438名
2 県民のための健康相談及び知識の普及 <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康相談事業の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 活動支部 川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部 参加者延1,121名 県看護協会訪問看護ステーション 年1回×4事業所 参加者延1,854名 (2) 委員会による「まちの保健室」活動 参加者延32名 2) 訪問看護の普及啓発を目的とした「かながわ訪問看護フェスティバル」の開催 2023年10月7日(土) 神奈川県総合医療会館7階 参加者数208名 3) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 県民及び看護職を対象とした禁煙の推進

事業実施内容
「スモークフリー推進かながわ基金」の禁煙に関する委員会への参加 (5月解散) <ol style="list-style-type: none"> 4) 県内の医療職に対する緊急情報の周知 <ol style="list-style-type: none"> (1) トピックス研修 年2回 <ol style="list-style-type: none"> ① 「看護基礎教育を考える会」 2023年9月28日(木) 受講者44名 ② 「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」 2024年1月27日(土) 受講者43名 (2) 緊急情報のホームページへの掲載(随時)

II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業 (定款第4条第1項第2号 公益目的事業)

事業実施内容																											
1 訪問看護及び居宅介護支援事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問看護事業 <p>医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと家族等への支援</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 訪問看護ステーション所長会議</td> <td>年12回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 訪問実績</td> <td>かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)</td> <td>12,653件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)</td> <td>8,747件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)</td> <td>6,700件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>洋光台訪問看護ステーション(横浜市)</td> <td>8,875件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>36,975件</td> </tr> </table> 2) 居宅介護支援事業 <p>要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援</p> <table border="0"> <tr> <td>ケアプラン作成実績</td> <td>かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)</td> <td>949件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)</td> <td>635件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,584件</td> </tr> </table> 3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 利用者満足度調査 年1回 (2) 関係機関満足度調査 年1回 (3) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年1回 4) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業 年1回×3事業所 5) 地域への活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 各訪問看護ステーション 年2回×4事業所 (2) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動 各訪問看護ステーションパンフレット作成 広報活動(広報誌、地域住民向け健康講座、SNS等の利用、協会立訪問看護ステーション募集サイト作成) (3) 訪問看護ステーション教育支援(県補助) 同行訪問研修 5名 新任または経験の少ない訪問看護師への研修 7回 教育担当者への研修 1回 6) 看護職員等の資質の向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 訪問看護ステーション内研修 訪問看護に関する情報共有、勉強会等 各訪問看護ステーション 月2～4回 (2) 事例検討会 困難ケース等についての検討会 各訪問看護ステーション 年3回 (3) 研修への参加 訪問看護ステーション 年2回 7) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援 看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ 延143名/4ステーション 8) 関係機関との連携 関係団体との連携及び会議等への参加 各訪問看護ステーション 年8回 	(1) 訪問看護ステーション所長会議	年12回		(2) 訪問実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	12,653件		あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)	8,747件		おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	6,700件		洋光台訪問看護ステーション(横浜市)	8,875件		合計	36,975件	ケアプラン作成実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	949件		おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	635件		合計	1,584件
(1) 訪問看護ステーション所長会議	年12回																										
(2) 訪問実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	12,653件																									
	あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)	8,747件																									
	おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	6,700件																									
	洋光台訪問看護ステーション(横浜市)	8,875件																									
	合計	36,975件																									
ケアプラン作成実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	949件																									
	おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	635件																									
	合計	1,584件																									

事業実施内容
9) 県内訪問看護ステーションへの支援 パルスオキシメーター配布(厚生労働省からの無償譲渡) 県内375ヶ所

III 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(定款第4条第1項第3号 公益目的事業)

事業実施内容
1 看護における医療安全体制強化のための支援
1) 医療安全情報収集・情報発信 医療安全対策委員会 年8回 施設見学 1回 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 安全推進室) 「医療安全情報」発行 年2回 2,450部 配布先 病院等施設
2) 医療安全研修 医療安全講演会 年1回 1日 受講者 119名 医療安全管理者フォローアップ研修 年1回 1日受講者 44名 医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 年1回 1日受講者 38名
3) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援 医療安全管理者情報交換と啓発活動 交流会 年11回
4) 関連団体との連携推進 (1) 日本看護協会との連携 会議 年1回 (2) 神奈川県6団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加 会議 年3回 書面会議、オンライン会議、セミナー開催(ハイブリッド) 参加者 393名 (3) 神奈川県医療事故調査支援団体等連絡協議会 会議 年2回 医療事故調査制度研修会(ハイブリッド) 参加者 226名 (4) 神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会 会議 年11回
5) 医療安全に関する相談・情報提供 (1) 医療事故に関係した看護職への支援、相談対応 66件 (2) 医療事故防止対策に関する広報 (3) 「医療安全情報」のホームページ掲載 (4) 医療安全推進週間の広報(11月25日含む前後1週間)
2 災害時の看護支援活動の強化と普及
1) 関連団体との連携推進 (1) 関係機関との連携推進 神奈川県医療危機対策課との打合せ 3回 東京都看護協会訪問 1回 神奈川県助産師会災害対策冊子リンク掲載 1回 東日本大震災・原子力災害伝承館 1回 (2) 県・市合同総合防災訓練(ビッグレスキュー)への参加 ・県市合同総合防災訓練会議 全体会議2回 作業部会2回 ・県市合同総合防災訓練 2023年10月15日 トリアージエリアにおける医療救護訓練 災害支援ナース5名参加 救護所 小田原支部より5名参加 展示会場出展 災害救護対策委員8名、看護協会職員3名参加 (3) 国民保護共同訓練への参加 ・避難全般会議 2回 ・要配慮者会議 2回 ・図上訓練会議 1回 ・ブレ訓練 2023年12月19日 ・国民保護共同訓練 2024年2月6日 県庁本部1名、避難先連絡所(関東学院大学金沢文庫キャンパス)1名参加 (4) 横浜市災害看護研修 ・横浜市災害支援ナース登録推進研修 2023年10月8日 受講者31名

事業実施内容
・横浜市災害支援ナースフォローアップ研修 2024年1月28日 受講者72名
(5) 行政との連携 ①神奈川県 ・神奈川県防災行政通信網(閉域スマホ)通信訓練 年6回 ・神奈川県地域防災計画の検討など ②横浜市 ・横浜市通信訓練 年6回 ・防災会議・災害医療連絡会議・国民保護協議会への参加 年1回 ・横浜市防災マニュアルの検討など
2) 災害支援ナースの派遣 神奈川県及び日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣 ・令和6年能登半島地震災害支援ナース派遣 延96名 鳳至小学校(輪島市) 2024年1月12日~2月8日 いしかわ総合スポーツセンター(金沢市) 2024年2月8日~2月17日 ・令和6年能登半島地震災害支援ナース派遣者報告会開催 2024年3月5日 参加20名
3) 災害への備え・広報活動 (1) 災害救護対策委員会 災害救護対策委員会 年11回 「かんご防災力GO!ご存知ですか?福祉避難所」発行 年1回 3,000部 (2) 災害支援ナースの携行物品の整備 ・災害支援ナース携行物品の消耗品の補充 (3) 災害看護研修の支援 ①災害看護マネジメント研修 2023年6月2日 受講者72名 ②新 災害支援ナース育成研修(JNA委託)年2回 eラーニング+集合研修2日 第1回 2023年10月2日~12月24日 修了者40名 第2回 2023年11月1日~2024年1月21日 修了者39名 (4) 災害支援ナース関連情報ホームページ掲載 ・災害支援ナース派遣体制変更 令和6年能登半島地震派遣災害支援ナース活動状況報告 (5) 災害支援ナース登録者 79名 (6) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発 ・看護フェスティバル等で災害時お役立ち情報の実演、リーフレット配布 9部 4,500枚 ・出前講座 4か所(横浜市中区、横浜市青葉区、藤沢市、茅ヶ崎市)で開催 参加者144名 出前講座開催チラシを県内市役所・区役所10か所に300部配布 出前講座 配布 災害時お役立ち情報・かんご防災力GO 10部 2,600枚配布 ・行政、他看護協会からの依頼 災害時お役立ち情報・かんご防災力GO 10部 1,400枚配布 ・ぼうさいこくたい2023 2023年9月17日~9月18日 説明会・準備会議 5回 会場視察 1回 ポスター展示 災害時お役立ち情報・かんご防災力GO 8部 2,400枚配布 (7) マラソン大会救護ボランティア参加 ・湘南マラソン 救護活動 40名 ・横浜マラソン 救護活動 66名 ナースランナー 6名
3 感染対策における知識の普及と予防活動への支援 1) 小規模施設の感染予防対策の充実 認定看護師による出張相談 11施設 12回 延参加者 315名 2) 感染症に関する相談窓口・フォローアップ 48件 3) 関連機関との連携 横浜市新型インフルエンザ等対策関係医療関係者連絡会 2回 県内保健福祉事務所訪問 2回

事業実施内容
4) 県民対象とした感染防止についての知識の普及と啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・看護フェスティバル他での感染対策啓蒙リーフレット・手ぬぐい配布 450枚 ・グリッターバグ貸出し事業 77施設 232日間 3,692名
5) 神奈川県病院協会 <ul style="list-style-type: none"> 共催事業：日本医療法人協会神奈川県支部総会后セミナー 参加者2名

IV 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(定款第4条第1項第4号 公益目的事業)

事業実施内容
1 看護職の資質向上の支援 <ol style="list-style-type: none"> 1) 継続教育の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 看護実践能力研修 年29回 延36.5日 延受講者1,482名 (2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修 年19回 延25日 延受講者956名 (3) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：新人看護師) 全1日間 受講者61名 (4) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：中堅看護師) 全8日間 受講者24名 (5) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：看護管理者) 全8日間 受講者20名 (6) 研修運営事業 <ul style="list-style-type: none"> 「研修一覧」タブロイド版作成 46,000部 (7) オープンセミナー <ul style="list-style-type: none"> 病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開 実施施設 23施設 延 162研修 (※うち中止13研修) 参加者延1,270名 (8) 研修事業(案)説明会 年1回 参加アカウント数(オンライン)：68 (9) 新人支援研修・復職支援研修(オンライン教育ツール「ナーシングスキル」の配信) 受講者43名 2) 新人看護職員研修の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) がんばれ！新人ナース!! 年1回 受講者655名 3) 看護研究の充実 <ol style="list-style-type: none"> (1) 神奈川看護学会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 2023年12月2日(土) パシフィコ横浜アネックスホール 来場者541名 ・運営委員会 年4回 ・査読会議 年1回 ・看護研究奨励賞選考会議 年1回 (2) 看護研究推進支援 研究指導講師紹介 3グループ 4) 教育企画運営に向けての支援 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育研修委員会 (2) 准看護師教育検討委員会
2 看護職の活動の充実 <ol style="list-style-type: none"> 1) 職能における研修等 2) 支部における研修等 3) 看護職員の就業環境改善の促進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 業務委員会 (2) 社会経済福祉委員会
3 地域看護の推進と拡充 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域看護の質向上と推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 訪問看護の推進 <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護ステーション一覧の作成 2,000部 配布先：訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載 (2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置 <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護等に関する相談、助言 月～金 年447件 2) 地域看護の質向上に関する研修

事業実施内容
(1) 地域看護における看護職員の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護入門研修会 年5回 2日 受講者 延170名 ・訪問看護師養成講習会 年1回 10日+eラーニング195時間相当 受講者 53名 ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 年1回 3日 受講者 47名 ・訪問看護現任者研修 年4回 0.5日 受講者 238名 ・地域連携のための相互研修会 年2回 3日 受講者 119名 ・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル) 年1回 3日 受講者 65名 ・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護学生等対象) 受講者 611名
(2) 地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル) 年1回 3日 受講者 62名 ・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会 年1回 11日 受講者 76名 ・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護師対象) 年2回 1日 受講者 77名 ・高齢者の終末期看護研修(ELNEC-JG) 年1回 2日 受講者 45名
(3) 地域看護におけるトップマネジャーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション管理者研修会 年3回 3日 受講者 延130名 ・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル) 年1回 3日 受講者 47名

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(定款第4条第1項第5号 公益目的事業)

事業実施内容
1 看護職員確保定着対策の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師等の無料職業紹介事業(本所及び相模原支所) <ol style="list-style-type: none"> (1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 求人相談 年4,037件、求職相談 年3,830件 (2) 第6次NCCSの運用 <ul style="list-style-type: none"> 就職数 年712件 (3) 相談員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> 都道府県ナースセンター相談員研修 2回 2) 届出制度の促進及び支援事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 届出制度の普及 届出数：7,538名 (2) 届出者の情報管理 就職・研修等の情報提供 1回以上/月 3) ハローワーク・ナースセンター連携事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働局・公共職業安定所との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換 ・巡回相談の実施 月1回 7か所 面談者 182名 ・運営及び情報共有の会議 連絡調整会議の開催 年1回、求人・求職の情報共有 ・連携セミナーの開催 セミナー回数 7回 参加者 149名 4) 広報活動及び情報提供事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> 未就業看護職・施設等への配布 5,000部 (2) 看護学生・教員への周知 <ul style="list-style-type: none"> 卒業年度学生へ「はたさば」配布 41校 3,260部 (3) 年報の発行 200部 配布先：行政機関等 91か所 (4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出(館内・館外) 計14本 (5) ナースセンターホームページ及びLINEによる広報の強化 <ul style="list-style-type: none"> 求人・求職登録増にむけた情報発信、LINE登録数 450名 (6) 講師派遣 高等学校1校 看護専門学校等3校 5) 関係機関との連携・会議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携 通年/随時

事業実施内容	
(2) 社会福祉協議会福祉人材センターとの連携 ・福祉施設等就職相談会等への協力・後援 福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力	
(3) 会議	
・看護職員確保対策連絡協議会	年1回
・ナースセンター事業運営会議	年1回
・ナースセンター連絡会議	年1回
・都道府県ナースセンター事業担当者会議	年1回（オンライン形式にて実施）
6) 看護職員の定着を図るための相談事業 就業者の就業相談の実施 相談内容の分類と分析/通年	
7) 研修支援事業	
(1) 未就業看護師等への「復職支援研修」 年3回 各回定員50名 受講者140名 就業者数32名 追加研修1回 受講者9名	
(2) 定着に向けた「就職定着自己学習会」定期開催 年8回 各回定員6名 受講者32名 定着数17名	
(3) 看護職のキャリア継続支援研修「キャリアをつなぎ・いかす」 定員80名 応募者80名 受講者66名	
2 看護に関する普及啓発事業の充実	
1) 進路相談事業 通年 相談件数 37件	
2) 看護フェスティバル開催への協働 看護フェスティバルでの進路相談 62名	
3) 一日看護体験の案内 期間2023年5月1日～8月31日 協力施設136施設 / 4,989名	
4) 看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発 「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布 中学 466校 看護の仕事ガイドブックの配布 高校 208校	

VI 会員に対する支援事業(定款第4条第2項第1号 収益事業)

事業実施内容	
1 会員に対する情報提供等事業	
1) 職能委員会における情報提供等	
2) 支部における情報提供等	
2 会員に対する福利厚生事業	
1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進	加入者数8,404名
2) 表彰	
3) 神奈川県看護協会指定店事業	指定店 約300店舗
4) 会員の慶弔等への対応	弔慰金支給 11件
5) 会員相互の親睦を深める機会の充実	
・会員交流会 2023年10月28日(土)	参加者67名
・新春のつどい ※中止	
6) お年玉プレゼント(広報出版委員会)	当選者67名
7) 会員サポート事業	
3 会員に対する研修支援事業	
1) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援	
(1) 認定看護管理者教育課程事業	
・認定看護管理者教育運営会議 定例会 年3回	
・ファーストレベル 研修期間 2023年5月12日～ 2023年8月31日 受講者74名	
・セカンドレベル 研修期間 2023年10月6日～ 2024年2月29日 受講者39名	

事業実施内容	
・ファーストレベルフォローアップ研修 年1回 受講者51名	
・セカンドレベルフォローアップ研修 年1回 受講者42名	
・ブラッシュアップ研修 年3回 受講者73名(延べ合計人数)	
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修 年12回 延13日 延受講者 822名	
(3) 医療安全管理者養成研修 eラーニング+集合研修1日 受講者 115名	
(4) 感染管理研修 年1回 半日 受講者 19名	

VII 法人の管理に関する事業(定款第4条第2項第2号 法人管理事業)

事業実施内容	
1 職能団体としての組織・運営強化	
1) 諸会議の開催	
(1) 通常総会 2023年6月16日(金)	
(2) 理事会 定例理事会 5回 臨時理事会 1回 書面決議 1回	
(3) 事業説明会 2023年7月1日(土)	
(4) 財政会議	
(5) 新聞への広告掲載 年2回	
2) 日本看護協会との連携	
(1) 通常総会への参加 2023年6月7日(水) 開催地：幕張メッセ(千葉県)	
(2) 全国職能集会への参加 2023年6月8日(木) 開催地：幕張メッセ(千葉県)	
(3) 地区別法人委員会・職能委員長会(関東甲信地区)の開催 2023年10月26日(木)、27日(金) 開催地：栃木県	
(4) 看護補助者キャンペーンウィーク事業の開催 2023年8月10日(木) 参加者23名	
(5) 看護補助者を対象とした標準研修の開催 第1回：2023年10月2日(月) 参加者8名 第2回：11月1日(水) 参加者6名	
(6) 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント(神奈川県との共催) 2024年1月27日(土) 参加者42名(うちオンライン参加者4名)	
3) 公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA看護だより等の活用	
4) 事務局機能の整備・充実	
(1) 事務局情報通信システムの運用・管理	
(2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加 事務局・訪問看護ステーション研修 年各1回、学会参加 年5回	
5) 委員会	
(1) 推薦委員会	
(2) 会員委員会	
(3) 看護研究倫理審査会 年2回 審査題数1日目6題、2日目7題	
2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進	
1) 神奈川県・県議会への要望活動 年1回	
2) 神奈川県との連携 地域医療の神奈川モデル事業 中郡内新型コロナウイルス感染者のサポート業務 2023年4月をもって終了	
3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進	

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,065,691	214,872	850,819
特定資産受取利息	1,065,691	214,872	850,819
受取入会金	41,680,000	47,920,000	△ 6,240,000
受取年会費	218,013,000	225,345,000	△ 7,332,000
受取会費	218,013,000	225,345,000	△ 7,332,000
事業収益	464,082,915	481,393,124	△ 17,310,209
受講料等収益	43,618,372	49,892,464	△ 6,274,092
受託事業資料代収益	1,706,000	1,564,500	141,500
参加費収益	2,150,800	1,986,000	164,800
訪問看護事業収益	397,236,712	411,776,603	△ 14,539,891
療養費収益	136,782,219	135,345,867	1,436,352
介護保険収益	252,480,548	267,690,776	△ 15,210,228
休日訪問等収益	2,140,200	2,653,350	△ 513,150
その他利用収益	5,833,745	6,086,610	△ 252,865
居宅介護支援事業収益	19,371,031	16,173,557	3,197,474
受取補助金等	84,941,908	109,700,548	△ 24,758,640
受取神奈川県補助金等収益	60,528,611	61,028,171	△ 499,560
ナースセンター事業受託収入	51,362,000	51,362,000	0
看護研修事業受託収入	1,291,000	1,291,000	0
訪問看護導入研修受託収入	1,471,000	1,471,000	0
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,420,001	1,420,001	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	856,000	856,000	0
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,560,000	1,560,000	0
看護師管理能力養成研修事業受託収入	748,610	748,610	0
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	620,000	620,000	0
訪問看護ステーション教育支援事業受託補助金	1,200,000	1,200,000	0
新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修受託収入	0	499,560	△ 499,560
受取横浜市補助金等収益	3,625,000	3,545,620	79,380
訪問看護師研修会事業受託収入	1,120,000	1,120,370	△ 370
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会受託収入	1,583,000	1,583,000	0
災害支援ナース研修事業受託収入	345,000	295,000	50,000
看護職員復職後フォローアップ研修事業受託収入	577,000	547,250	29,750
受取川崎市補助金等収益	567,000	567,000	0
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	567,000	567,000	0
受取相模原市補助金等収益	990,359	1,037,132	△ 46,773
ナースセンター事業受取補助金	990,359	1,037,132	△ 46,773
受取日本看護協会補助金等収益	17,883,438	24,614,581	△ 6,731,143
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,239,490	10,279,110	△ 39,620
会員登録事務業務受託収益	5,801,910	5,875,490	△ 73,580
新型コロナウイルス広域人材調整事業受託収入	0	1,047,035	△ 1,047,035
新型コロナウイルス潜在看護職研修事業受託収入	0	5,278,853	△ 5,278,853
新型コロナウイルス離職防止相談事業受託収入	0	2,084,093	△ 2,084,093
新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修事業受託収入	0	50,000	△ 50,000
看護補助者の確保・定着キャンペーンウィーク事業受託収入	145,094	0	145,094
看護補助者を対象とした標準研修推進事業受託収入	256,192	0	256,192
災害支援ナース養成研修事業受託収入	1,440,752	0	1,440,752
受取団体助成金等収益	1,347,500	18,908,044	△ 17,560,544
団体助成金収入	1,347,500	17,534,044	△ 16,186,544
安全・安心な横浜MICE開催支援助成金	0	1,374,000	△ 1,374,000
受取負担金	288,000	0	288,000
受取負担金	288,000	0	288,000
受取寄付金	4,609,500	4,260,000	349,500
受取寄付金	1,159,500	810,000	349,500
協賛金収益	3,450,000	3,450,000	0
かながわ看護フェスティバル	3,450,000	3,450,000	0
雑収益	3,264,860	2,137,712	1,127,148
受取利息	7,965	8,319	△ 354
その他の雑収益	3,256,895	2,129,393	1,127,502
経常収益計	817,945,874	870,971,256	△ 53,025,382
(2) 経常費用			
事業費	828,486,209	841,604,431	△ 13,118,222
役員報酬	24,410,330	24,383,217	27,113
給料手当	477,838,610	486,382,824	△ 8,544,214
臨時雇賃金	490,000	370,000	120,000
役員賞与引当金繰入額	1,039,000	1,038,000	1,000
賞与引当金繰入額	14,411,000	13,557,000	854,000
役員退職慰労引当金繰入額	1,513,320	1,417,980	95,340
退職給付費用	13,912,527	16,774,071	△ 2,861,544
法定福利費	80,662,576	78,419,677	2,242,899
福利厚生費	2,546,743	2,260,846	285,897
会議費	117,941	135,006	△ 17,065
旅費交通費	9,333,204	9,109,596	223,608
広告宣伝費	352,100	206,580	145,520
通信運搬費	18,462,716	18,356,596	106,120
減価償却費	14,386,426	13,207,298	1,179,128
消耗什器備品費	808,038	658,488	149,550
消耗品費	11,538,502	13,470,986	△ 1,932,484
修繕費	235,813	192,210	43,603
印刷製本費	17,244,975	20,337,118	△ 3,092,143
燃料費	1,885,666	1,990,394	△ 104,728
光熱水料費	2,391,355	3,441,376	△ 1,050,021
賃借料	41,217,028	41,200,762	16,266
支払リース料	21,880,618	21,583,068	297,550
保険料	2,853,906	2,576,832	277,074
諸謝金	22,122,420	22,466,312	△ 343,892
租税公課	6,220,745	6,325,188	△ 104,443

科 目	当年度	前年度	増 減
支払手数料	3,105,178	3,361,597	△ 256,419
支払負担金	17,071,166	16,914,797	156,369
委託費	20,018,439	21,206,683	△ 1,188,244
雑費	415,867	259,929	155,938
管理費	54,975,041	53,949,753	1,025,288
役員報酬	5,881,700	5,929,463	△ 47,763
給料手当	8,612,544	7,974,902	637,642
役員賞与引当金繰入額	180,000	181,000	△ 1,000
賞与引当金繰入額	367,000	276,000	91,000
役員退職慰労引当金繰入額	269,680	408,820	△ 139,140
退職給付費用	52,317	500,435	△ 448,118
法定福利費	3,998,823	3,735,466	263,357
福利厚生費	2,336,121	3,225,131	△ 889,010
会議費	107,251	169,215	△ 61,964
旅費交通費	1,026,710	794,410	232,300
広告宣伝費	110,000	110,000	0
通信運搬費	3,229,271	3,492,336	△ 263,065
減価償却費	4,052,022	3,855,846	196,176
消耗什器備品費	587,989	1,264,670	△ 676,681
消耗品費	480,904	1,189,881	△ 708,977
印刷製本費	1,381,198	1,681,743	△ 300,545
光熱水料費	45,232	48,933	△ 3,701
賃借料	1,838,386	2,070,316	△ 231,930
支払リース料	1,402,357	1,707,348	△ 304,991
保険料	219,610	219,410	200
諸謝金	1,296,990	1,246,940	50,050
租税公課	5,354,660	2,636,887	2,717,773
支払手数料	877,031	878,717	△ 1,686
支払負担金	7,009,617	5,852,323	1,157,294
支払助成金	55,000	55,000	0
委託費	4,140,265	4,389,194	△ 248,929
雑費	62,363	55,367	6,996
経常費用計	883,461,250	895,554,184	△ 12,092,934
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 65,515,376	△ 24,582,928	△ 40,932,448
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 65,515,376	△ 24,582,928	△ 40,932,448
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	465,437	0	465,437
什器備品受贈益	465,437	0	465,437
経常外収益計	465,437	0	465,437
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	5	△ 4
経常外費用計	1	5	△ 4
当期経常外増減額	465,436	△ 5	465,441
当期一般正味財産増減額	△ 65,049,940	△ 24,582,933	△ 40,467,007
一般正味財産期首残高	2,026,064,807	2,050,647,740	△ 24,582,933
一般正味財産期末残高	1,961,014,867	2,026,064,807	△ 65,049,940
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,961,014,867	2,026,064,807	△ 65,049,940

理事会報告

第1回 2024年5月11日(土)

I 審議事項

- 1 会費等に関する規則改正について 承認
- 2 職員給与規程の改正について(訪問看護ステーションベースアップ評価料の新設、他) 承認
- 3 2023年度事業報告(案)について 承認
- 4 2024年度通常総会運営について 承認
- 5 2024年度改選役員候補者 承認
- 6 2024年度選挙管理委員の選任について 承認
- 7 2024年度職能委員・支部委員・常任委員について 承認

II 協議事項

- 1 2023年度決算報告書(案)について 承認
- 2 公益法人法の改正に向けた対応と財政の持続可能性について 承認
- 3 2024年度総会プログラムの変更と議案・報告事項の追加について 承認
- 4 支部長印の管理取扱いについて 承認

III 報告事項

- 1 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会理事会(5/10)について
 - 2) 2025年度神奈川県への行政要望について
 - 3) 会員獲得と魅力づくりに関する調査報告
 - 4) 認定教育課程・学会・研修等について
 - 5) 2024年度日本看護協会通常総会代議員研修会について
 - 6) 2024年度9月の理事会の日程変更について
 - 7) 2024年度入会促進活動に関する事業計画等について
 - 8) 2024年度職員体制について
- 2 職能・支部理事報告

会員限定



特別優待チケットのご案内



劇団四季「ゴースト&レディ」

★割引後 会員特別価格 S席 9,500円

【公演日】 9月 4日(水) 13:30 ~
9月21日(土) 13:00 ~
10月16日(水) 18:30 ~

詳細・お申込はこちら



1公演10名様ご優待 お一人様2枚までお申込み可能
【公演場所】 JR東日本四季劇場「秋」(浜松町、竹芝)
【申込期間】 7月29日(月)~8月16日(金)



劇団四季「アナと雪の女王」

★割引後 会員特別価格 S席 9,500円

【公演日】 11月15日(金) 13:00 ~
11月23日(土) 17:00 ~
12月 7日(土) 12:30 ~
12月24日(火) 10:00 ~

詳細・お申込はこちら



1公演10名様ご優待 お一人様2枚までお申込み可能
【公演場所】 JR東日本四季劇場「秋」(浜松町、竹芝)
【申込期間】 7月29日(月)~8月16日(金)

問い合わせ 神奈川県看護協会 企画運営課 TEL:045(263)2918

表紙の写真

えびそうスタイルでチャレンジ!!

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 海老名市

海老名総合病院は「地域密着高度急性期病院」をビジョンに掲げ、質の高い急性期医療を提供しています。2023年6月には「看護動線の最適化」を目指したスーパートライアングル病棟を開設しました。働き方改革の推進として、スタッフの業務効率や働きやすさといった観点に活かされています。

看護部は、看護師一人ひとりが輝いてほしい!という願いのもと、働き続けたい・成長したいというニーズを実現するため、充実した教育研修・キャリア支援を提供しています。働きやすい『えびそうスタイル』で、レジリエンスの高い・チャレンジし続ける看護師を育成し、より一層地域医療へ貢献していきたいと思ひます。

看護管理者 佐々木 麻衣香



トライアングル病棟

立地を活かし、トライアングルにしたことで、スタッフの業務効率が図れ、働きやすい病棟です



認定看護師の活動

専門性を発揮し、やりがいを持って楽しく働いています!



ER入り口

県央医療圏、唯一の救命センター! 2023年度(2月時点)は、救急車を9,703台受け入れています!



多職種合同 フレッシュマン研修

一年間を通してどんな医療人になりたいのかグループワークで未来の自分を明確にしています



コマンドセンターを活用したベッドコントロール

看護部・患者サポートセンターが連携し、病床の有効活用に向けた調整をしています

キリトリ

ズーラシアに行こう!

【対象】 2024年度の会員とその家族(5名まで)
【ご利用期間】 9月1日(日)~11月30日(土)

ご利用方法 補助券に必要事項を記入の上、必ず「電子会員証」と一緒にチケット売り場へご提示ください。

「電子会員証」はキャリアナースの登録が必要です!

- ・プラスチックの永年会員証では、現在の会員の証明とはなりません。
- ・事前にキャリアナースへ登録の上「電子会員証」の提示方法をご確認ください。
- ・ご登録方法等については、右記のQRよりキャリアナース登録案内をご確認ください。
- ・ご不明な点がございましたら、神奈川県看護協会へご連絡願ひます。

<問い合わせ> 神奈川県看護協会 企画運営課 TEL:045(263)2918

よこはま動物園ズーラシア補助券

ご利用期間を短縮又は延長をする場合がございますので、当協会のHP・LINEにて確認下さい

ご利用日:	月	日	下記の金額で入場できます。	◇人数と金額をご記入ください
会員番号:			大人(一般) 通常800円 → 500円	人()円
会員氏名:			中人(高校生) 通常300円 → 200円	人()円
居住地:	市・町・村		小人(小・中学生) 通常200円 → 0円	人()円
	区		(小学生未満 無料)	合計()円

広告

高千穂は横浜で設立50年
新築・リフォーム・お家の事なら何でもご相談ください。

高千穂の外壁塗装工事は安心保証付き!

~外壁塗装は10~15年が塗り替え時期の目安です~

特別割引
実施中!

期限:2024年8月末まで/
塗装工事 **25%割引**
屋根葺き替え **15%割引**

こんな状態は塗り替えサイン!

- 全体的な色あせが目立つようになってきた
- ひび割れがある
- 触ると手に白い粉がつく
- 木部の塗装が剥がれている
- デザイン性を高めたい

住まいの夢を共に語りたい
株式会社 高千穂

0120-450-541

〒220-8109 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー9F
https://www.takachiho-corp.co.jp

クーポン番号
047-069



スキルアップ応援!! 研修ご招待 キャンペーン

2024年度会員限定

応募してみませんか?



研修が無料で受けられる特典

神奈川県看護協会では、会員の皆様に無料で参加いただける研修を用意しました。

対象の研修
抽選で5名ずつ

通常**4,400円**の受講料が**無料**に!!

◆ 研修番号1 「学びなおしの患者接遇」 11/15(金)開催

◆ 研修番号66 「笑顔が増えれば職場が変わる!
～相手とわたしのためのアンガーマネジメント～」
2/17(月)開催

※応募者多数の場合には抽選となります。

応募方法などのご案内はホームページおよびLINEにてお知らせいたします。ぜひ、この機会に研修を受講してください。
問合せ/研修課 ☎045-263-2926

こんにちは 事務局 です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

令和6年度 継続・新規入会 手続き受付中!

■継続の方

お手元に会費の振込用紙(コンビニ用・銀行用)がある場合は、お早めにご納入ください。

■新規・再入会の方

期 間/令和6年4月1日～令和7年3月31日

入会費/20,000円(県協会へ初めて入会する方対象)

年会費/11,000円(日看協5,000円+県協会6,000円)

■Webから入会手続きができます。

当協会HPから:

入会案内・変更手続 ⇒ WEB入会

ログインはこちら▶



★会員特典

研修受講料の割引、情報誌の提供、提携店の優待価格での利用(万葉の湯、高島屋、ハウスクリーニング他)、看護職責任賠償保険の団体加入等



問合せ/企画運営課 会員担当 ☎045-263-2918

助産師職能集会・研修会

日 時/令和6年9月9日(月) 13:00～16:30

場 所/県ナースセンター研修室

内 容/ 1) 職能集会
2) 研修会「周産期メンタルヘルス」

講 師/社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院
公認心理師・臨床心理士・助産師 相川 祐里氏

対 象/看護職

参加費/1,000円(会員:無料)

問合せ/助産師職能委員会担当 ☎045-263-2917

第26回神奈川看護学会 参加者募集

テーマ「多様性と協働が紡ぐ未来の看護職」

日 時/11月30日(土) 10:00～16:00(予定)

場 所/パシフィコ横浜 アネックスホール

プログラム/

- ・一般演題発表(口演・示説)
- ・講演会
- ・シンポジウム
- ・看護研究なんでも相談コーナー・ミニ支援講座
- ・活動紹介・相談コーナー
- ・ランチョンセミナー
- ・神奈川県看護協会からの情報発信
- ・企業展示 他

事前参加申込期間/8月1日(木)～10月31日(木)

参加申込みにつきましては、参加者募集案内(チラシ)またはホームページをご覧ください。

問合せ/神奈川看護学会事務局 ☎045-263-2926

訪問看護入門研修

訪問看護に興味のある看護職を対象に、講義や実習を通して訪問看護の基礎を学びます。

日 程/①10月9日(水)・10日(木)

②2025.1月15日(水)・16日(木)

場 所/県ナースセンター研修室(各回)

実習先/県内の訪問看護ステーション

定 員/各回30名

受講料/無料

問合せ/研修課 ☎045-263-2933

編集後記

つい先日2024年が始まったと思っていたのに、いつの間にか暑い夏になっていました。春は楽しむ間もなく過ぎてしまったので、暑さを満喫しつつ夏を楽しもうと思っています。皆様も熱中症対策を万全に、楽しい時間をお過ごしください(Y.K)